



山本りゅう

ROUTE 前橋 市政継続

市民サービスにはお金が必要です。私はやりくり(無駄を減、税収を増、民間活力)をしながら、市民負担を増やさず、暮らしを支え、健康を守り、経済を回す投資を行ってきました。

責任をもって市行政のリーダーとして全国的にトップレベルの前橋の「生きやすさ」をさらに伸ばして行きます。

私は「公平な心」「決断」「スピード」をもち 2020マニフェスト”を実現します。

約束

高校生までの医療費無料化を決定

予算額 (ごみの減量によって生み出した3億円から充当します)
2億円 学校の部活での怪我や病気、高校生の医療費を応援していきます。

幼稚園、保育園、子ども園に運営支援員の配置

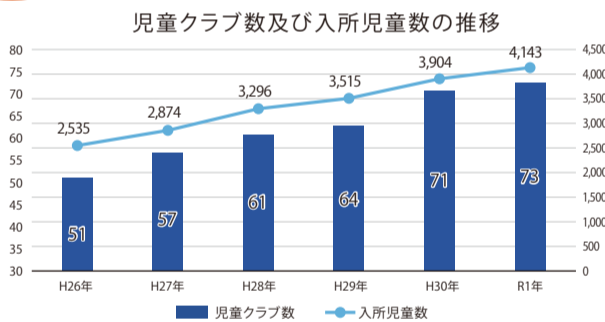
予算額 (国の補助75百万と子育て無償化で浮いた財源を充当します)
1.5億円 さまざまな業務が保育の現場に集中しています。保育士や幼稚園教諭の不足は深刻で施設の入園定員も、未満児保育もスタッフ不足で出来ない状況です。保育現場の環境改善が急務です。

学童保育6年生まで拡大中。働くお母(父)さんも安心

出来ました

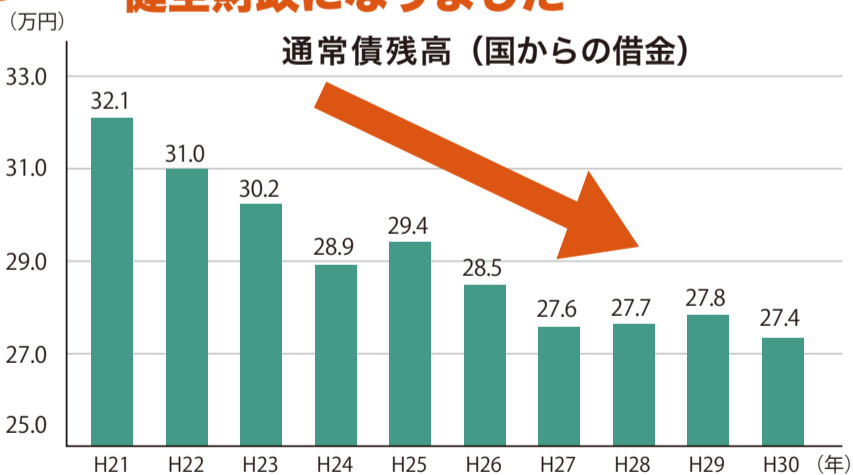
病児病後児の預けられる施設も4カ所目が完成

私の任期の間で学童クラブを頑張って増やしてきました。働くお父さんやお母さんの応援になるからです。今では99%の小学生が6年生まで通えるまでになりました。インフルエンザでも預けられる施設も市内に増やしていきます。



報告

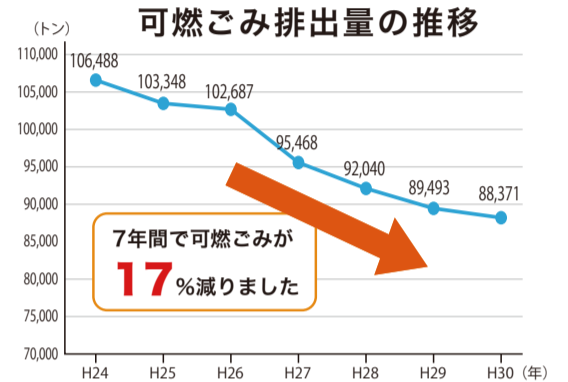
やりくりを続け 国からの借金を減らし、健全財政になりました



御礼

ゴミが減少！延命化修理で六供清掃工場は25年間大丈夫です！

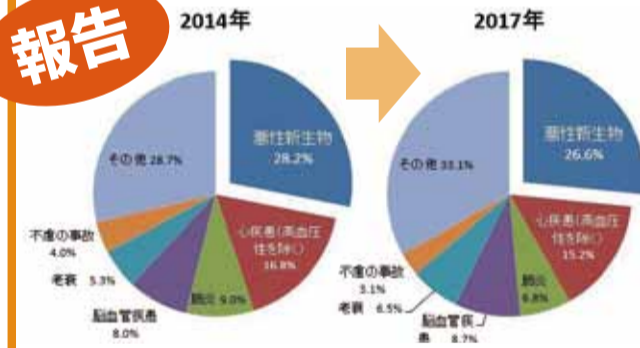
ゴミは減らすのは市長の責任です。今後も市民のゴミ分別や減量をお願いし、古紙・古着・ペットボトルなどの集団回収への奨励を進めます。下増田サッカー場は残せません。しかも、2炉の廃止で貴重な財源3億円が生まれました。



大胡 亀泉が廃止。浮いた財源は **毎年 3億円**

がん検診受診率が第1位(指定都市・中核市)になりました。

報告



私の市長就任からがん検診の無料化を実施し、検診⇒早期発見⇒早期治療を呼び掛けてきました。その結果、受診率の増加と同時に死因に占めるがんの割合が少しずつ減少しています。**病気が減れば、国保料に引き下げも可能です。**

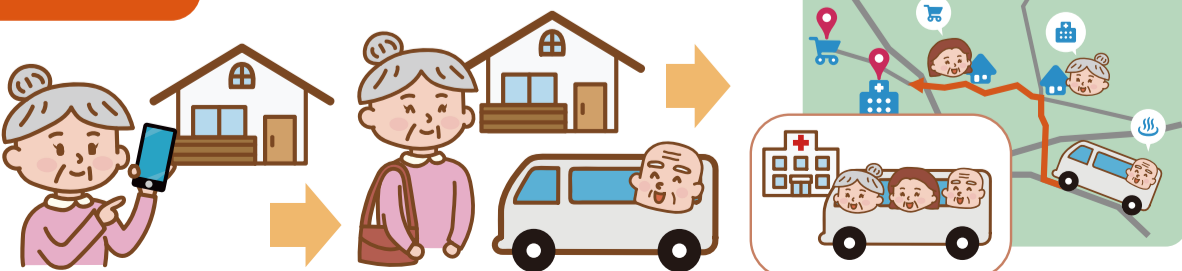
約束

若者の結婚の出会いと働く場を作ります

- 市役所が運営する無料の結婚相談センターをスタート
- 新産業団地を造成し産業誘致します。(西善中内、南部、清里、宮城、既存団地拡張など)
- 事業所税の還元制度の創設で企業経営を支援します
- デリカ産業の食物残差の減量化やリサイクルを支援します
- 小口資金における信用保証料の全額補助期間を延長します
- 高齢農家への補助や6次産業化を応援(前橋の逸品)します
- 農業用施設への償却資産税を減免します

2022年に実現!

マイタクで買物も通院も安心



マイタクを前橋市内全体でもっと利用してほしい。そのためにはマイタクや様々な交通を組み合わせる自宅から目的地まで運べる仕組みを作ります。ボタンを押すだけで迎えが来る仕組みを2022年までに構築します。前橋は政府からモデル都市に指定されています。



永明地区版

■永明の市民活動に感謝します

市民活動により家庭からのゴミの量が減り、なんと六供の清掃工場の改修工事の完了と同時に亀泉、大胡の2清掃工場の廃止することが可能になりました。3億円の費用が削減できます。まさに市民活動の大きな成果です。民生児童委員の活動や生涯学習、スポーツ推進、公民館でのピンシヤン体操や公園管理などのさまざまな活動を支える皆さんに感謝を申し上げます。

市民活動の中核は公民館です。いよいよ永明地区の公民館が新しくなります。現在、永明小学校の隣に用地を求め、地域の方々と利用しやすい施設整備に向かって検討がスタートしました。



永明公民館完成案

■学童保育を6年生まで充実させます

駒形小学校(主に2クラブ262人が利用共愛小学校含む、待機児童0)と永明小学校(3学童保育施設227名が利用、待機児童0)には学童保育も利用者が増えています。永明地区は人口が増加し学童保育の必要性が高まっています。そこで駒形小学校には令和2年に学童保育を学校内に開設予定です。令和3年には新しい学童保育も開園します。又インフルエンザ等の突然の発病に子どもを預けられる病児病後児施設も増やします。



■JR前橋大島駅、駒形駅の乗降客数をもっと伸ばします

平成30年の乗降客数は駒形駅が2998人で過去最高 前橋大島駅が1661人でした。前橋大島駅の利用者を増やすには駅北の再編が必要です。また駅の駐輪機能の強化や電動GPS管理のシェア自転車のポートの設置により駅周辺の回遊性も図ります。これによって駅に新しい価値をつくります。



■救急車の搬送 時間短縮を目指す

現在前橋市消防局ではドクターカーの運行によって患者さんの救命率を伸ばしています。ICTなどの情報システムの活用によりもっと迅速な対応が可能になります。

現在の前橋消防の29.9分は全国2位です。ちなみに東京消防は52分です。

前橋市は東京オリンピック パラリンピックのホストタウンです



山本りゅう 後援会事務所

〒379-2166 前橋市野中町386

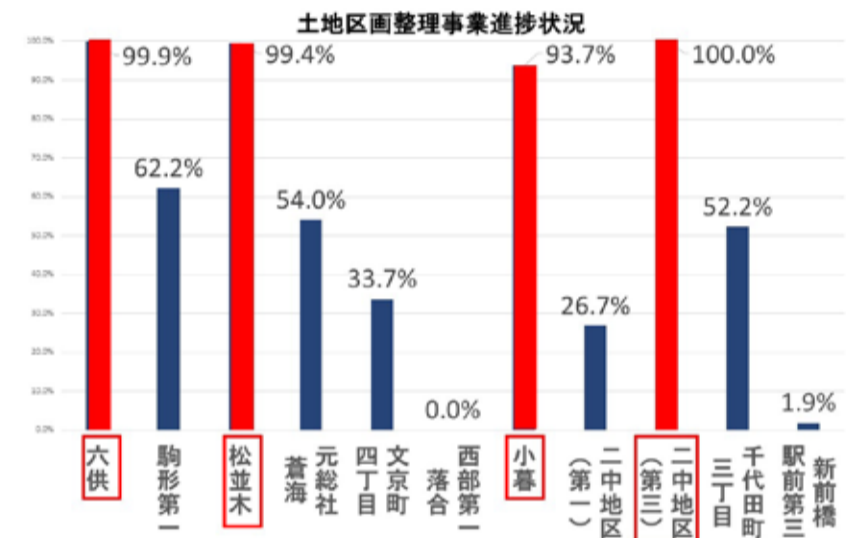
電話番号: 027 226-5803 FAX番号: 027-226-5812

■松並木区画整理が ほぼ終了しました。



市内で11地区の区画整理事業を前橋市は行っていますが、4地区の事業が終了します。この予算を7地区に充当することで、工事の進捗を早めていくことが出来ます。駒形の区画整理も移転家屋の進捗率は76.3%です。スピードを上げていきます。

松並木から六供の清掃工場への伸びる江田天川大島線も朝倉の協立病院南の工区が4年ほどで完了すれば、利根川東部の路線が開通します。現在、前橋市は六供と育英高校を繋ぐ橋を始め利根川西部の路線延長への基礎調査を行っています。



■下増田サッカーセンターも このまま継続します。

六供の清掃工場の延命化修理が完了し、前市長時代に計画されていた「下増田清掃工場」の予定地では現在Jリーグのプロチームの練習会場や、全日本クラスのサッカー大会が開催されています。このまま下増田をサッカーの聖地として伸ばして行くべきです。地域の方にとって、冷やしトマトや農産物販売など、楽しみの場になるように取り組みます。



災害でも水・電気・ガスが止まらないまちを目指しています。とくに病院や避難所は無停電化を進めます。利根川はじめ市内の河川のリスクを回避するために河川浚渫や、ダム貯留機能の確保、河川の樹木の伐採などを国に要請しました。

